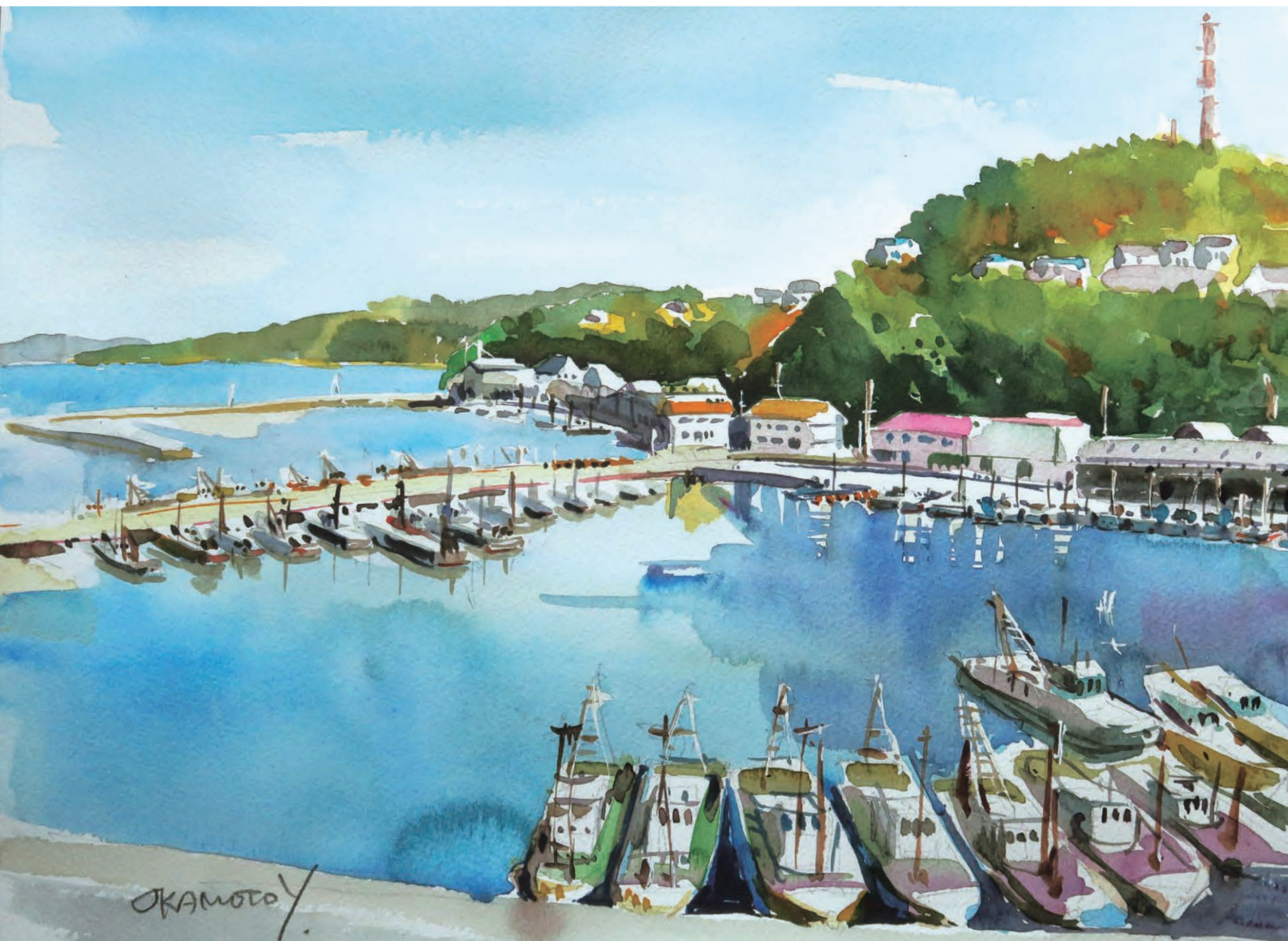


株主通信

第73期 第2四半期

2023年3月1日～2023年8月31日



坊勢島。島の産業は漁業、採石業、海運業が主である。(姫路市・家島諸島)

TOPICS | 公式アンバサダーに、 さかなのおにいさん かわちゃんが就任しました

2023年8月、タレントや歌手、ラジオDJなど幅広く活躍する「さかなのおにいさん かわちゃん」をFURUNO公式アンバサダーに起用しました。

「こどもがさかなを好きになると海の未来は豊かになる」をテーマにこどもたちに海の魅力を伝える活動を行う「かわちゃん」と、「FURUNO海を未来にプロジェクト」と題し、海を好きになってもらう活動や海を守ろうとする活動を推進する当社との親和性も高く、今回の起用となりました。

今後も海に育てられた企業として身近なおさかなや海に関するトークショーなどを開催することで、未来を担うこどもたちに海の魅力をお届けしてまいります。



FURUNO

経営ビジョンの実現へ向けて、 フェーズ2中期経営計画がスタートしました。



代表取締役
社長執行役員 兼 CEO
古野 幸男

増産に取り組み、価格マネジメントによる 利益の適正化に努めました。

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループの関連する市場において、船用分野のうち商船向け市場では、新造船の受注環境は軟調ながらも、手持ち工事量は高い水準を維持しました。漁業向け市場では、欧州を中心に需要が堅調に推移しました。プレジャーボート向け市場では、北米及び欧州で需要が好調を維持しました。産業用事業では、国内における新車及び中古車販売台数は堅調に推移し、5Gエリア拡大に伴う携帯電話向け基地局の設置も国内外で進みました。

当社グループにおいては、部材調達環境の回復を背景に、高水準の受注残の解消と納期の正常化に向けて増産を進めました。また、工場の生産効率の改善に向け、生産ラインにおける画像認識・AI解析によるリアルタイムモニタリングの高度化等のスマート化に取り組みました。部材価格高騰によるコスト上昇に対しては、販売価格への転嫁等の価格マネジメントを各地域において推進し、利益の適正化に努めました。

営業利益、経常利益いずれも 前年同期を大きく上回りました。

こうした増産への取り組みや価格マネジメントによる利益の適正化を図った結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は530億2千2百万円、営業利益は37億2千9百万円、経常利益は45億2千5百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億8千万円といずれも前年同期を上回りました。

当社グループは、経営ビジョン「FURUNO GLOBAL VISION “NAVI NEXT 2030”」の実現に向けて、「技術と事業の柱・収益構造の構築に向けた行動」をテーマとする、フェーズ2となる中期経営計画を今期よりスタートさせました。フェーズ2では、利益水準の向上、売上規模の拡大による成長投資の資源捻出、サステナブル経営を着実に推進してまいります。

株主の皆様におかれましては、なお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

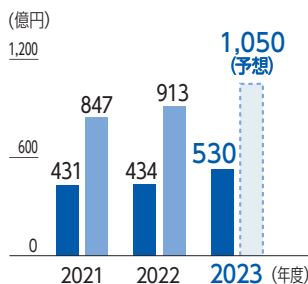
2023年11月

連結業績ハイライト (第73期 第2四半期)

■ 第2四半期累計 ■ 通期

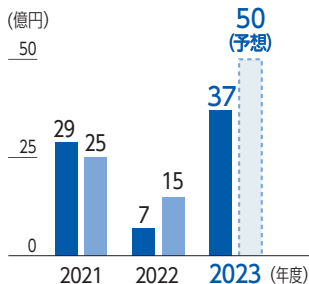
売上高

530億円
前年同期比 **22.1%増** ▲



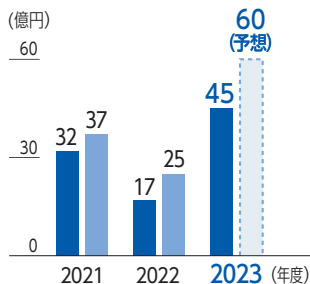
営業利益

37億円
前年同期比 **368.2%増** ▲



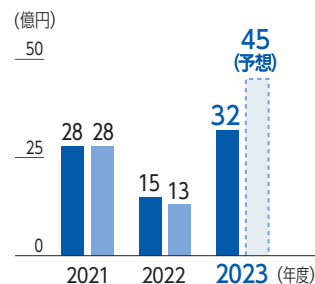
経常利益

45億円
前年同期比 **162.7%増** ▲



親会社株主に帰属する 四半期 (当期) 純利益

32億円
前年同期比 **113.4%増** ▲



配当について

当期の中間配当金につきましては、1株当たり20円とさせていただきます。期末配当金は1株当たり25円(年間配当金は1株当たり45円)を予定しております。

船用事業

売上高
451億円
セグメント利益
41億円

- 主な製品
- 航海機器
 - 無線通信装置
 - 漁労機器



8.4型2周波カラー液晶魚群探知機
FCV-800

■ 部材の調達環境は正常化しつつあり、旺盛な需要環境の中、円安傾向が継続したことによる追い風も受け、北米、欧州、アジアともに、海外売上高は好調に推移しました。

産業用事業

売上高
60億円
セグメント利益
0.4億円

- 主な製品
- 医療機器
 - GPS機器
 - ETC車載器
 - 防衛装備品



時刻同期用
マルチGNSSアンテナ
AU-500

■ OEM受託製品の販売が減少しましたが、ETC車載器やGNSS時刻同期製品、ヘルスケア事業における生化学分析装置の販売が増加し、また、防衛装備品事業の販売も大きく増加したことから増収となりました。

無線LAN・ハンディターミナル事業

売上高
16億円
セグメント損失
0.01億円

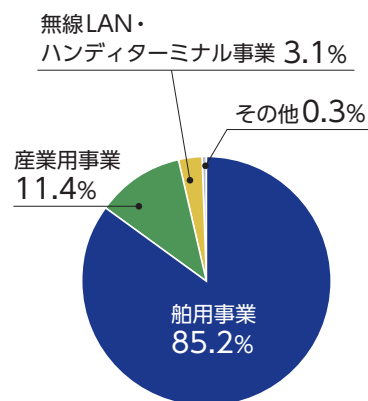
- 主な製品
- 無線LAN機器
 - 無線ハンディターミナル



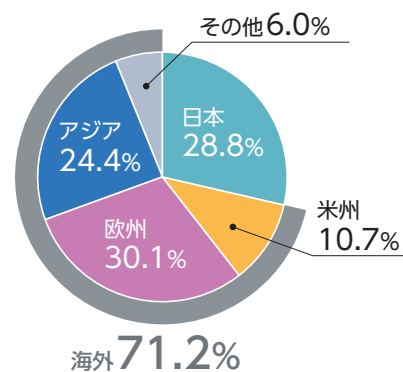
IoTゲートウェイ対応
11ahアクセスポイント
ACERA330

■ 主に文教向けの無線LANアクセスポイントの販売が減少したことから減収となりました。

事業別売上高構成比



地域別売上高構成比



詳細な財務情報はフルノ企業情報サイトをご覧ください。

<https://www.furuno.co.jp/>
>IR・投資家情報

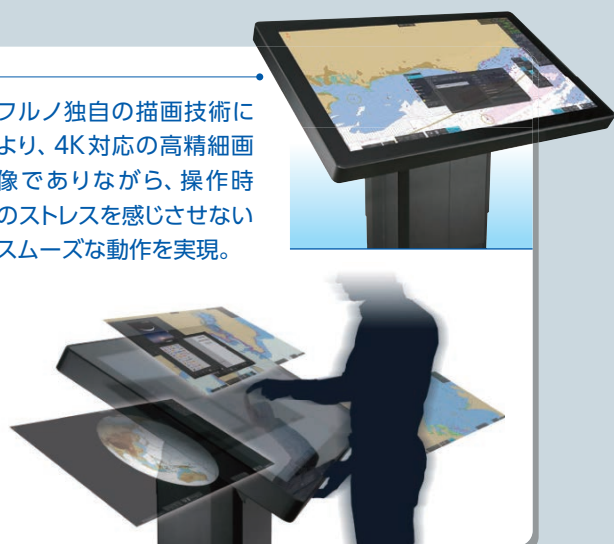
NEWS —新製品紹介—

2023年 9月発売

航海計画から監視まで、より安全で効率的な航行をサポートする「PS-100」

航海計画支援システム「PS-100」は、タッチ操作で直感的に操作できる、航海計画に特化したユーザーインターフェイス。新しいルートの作成や既存ルートの編集が簡単に行え、航路比較・航路プレイバック機能なども搭載。また、センサー情報をはじめ、レーダー映像や気象情報などを重畳表示することで、スムーズな航海監視をサポートします。作成したルートやチャートなどは自動的に他のユニットへ配信。データ移行作業の手間なく※、船員間で情報が共有できます。 ※同一ネットワーク接続が必要

フルノ独自の描画技術により、4K対応の高精細画像でありながら、操作時のストレスを感じさせないスムーズな動作を実現。

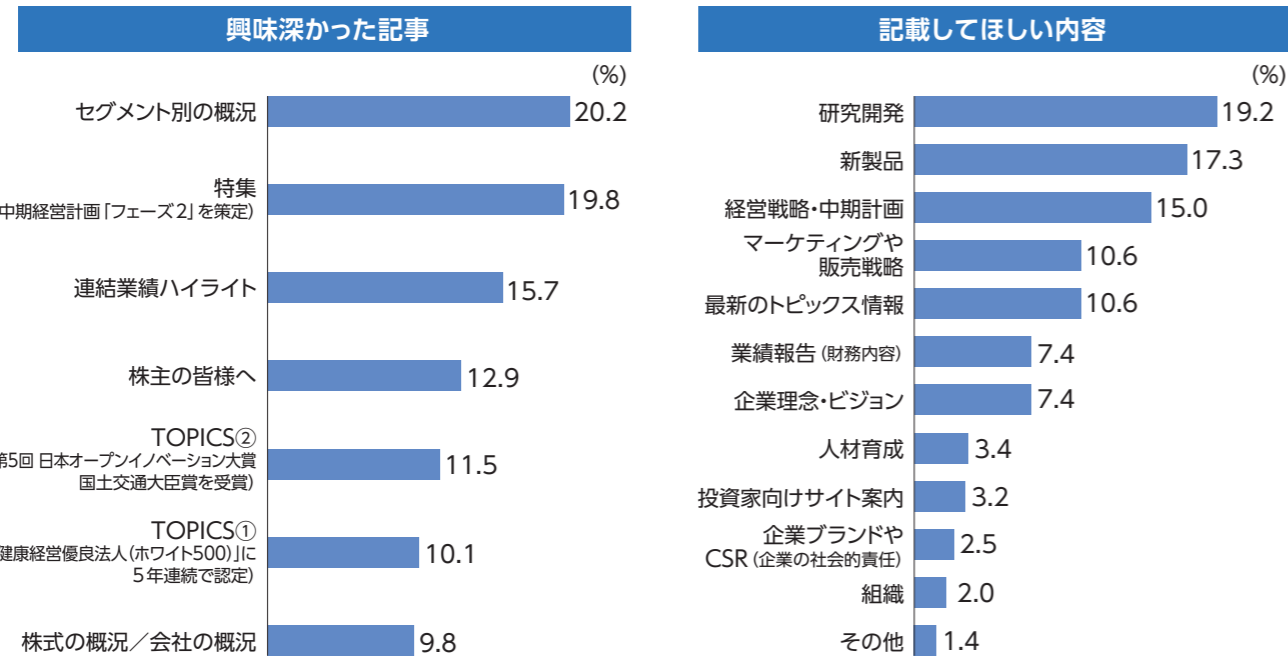
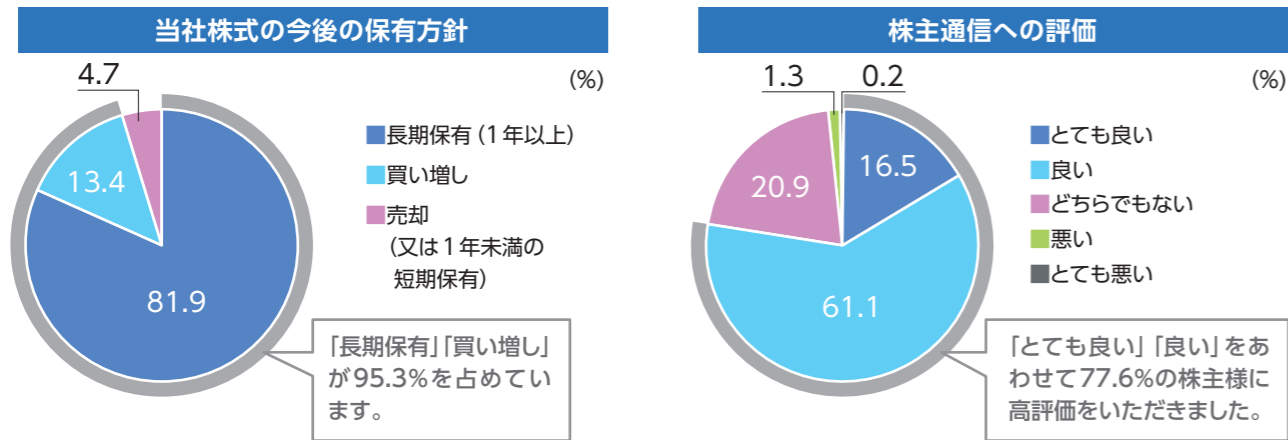


株主様 WEBアンケート結果のご報告



前回の株主通信にて告知したWEBアンケートに、多くの皆様にご協力いただき、誠にありがとうございました。ご要望や激励のお言葉などを多数いただき、大きな励みとなりました。この場をお借りしてお礼申し上げますとともに、アンケート結果の概要についてご報告させていただきます。なお、ご回答いただいた株主様には「FURUNOカレンダー2024」を12月上旬に発送いたします。

【実施期間】 2023年5月26日～6月30日 【回答者数】 552名



- 主なコメント
- 海外の外部要因など厳しい環境が続いていますが、御社ならではの得意分野での社会貢献に今後とも期待しています。
 - 先だって株主総会後に展示コーナーを見学させていただき、製品に対する知識が深まりました。ありがとうございました。
 - 技術の向上を図り、ますますフルノの優位性を追求してくれることを期待します。
 - 阪急電車の中吊りが全部フルノさんだった車両に乗れた時は、嬉しかった。

アンケートでいただいたご意見・ご質問にお答えします

Q 展示会への出展は行っていますか。

A 海事都市「今治」で4年ぶりに開催された「バリシップ 2023」に出展しました

当社では、AR(拡張現実)やVR(仮想現実)に関連するシステムや船体と岸壁との位置関係を高精度に計測して安全に離着岸を支援する「離着岸支援システム」のほか、船内データを船陸間で共有することでリモートメンテナンスを支援する「FOP」、船舶に搭載した当社の航海機器や通信機器のデータをリアルタイムに陸上で収集・保存、監視できるサービスなど、自動運航を実現するための各種機能・ソリューションをご紹介しました。なお、バリシップ開催地である今治市は国内造船の一大拠点のため、2023年3月より今治営業所を開設しました。



当日ブースの様子

Q 最新テクノロジーや革新的分野の紹介をしてほしい。

A スマートブリッジについてご紹介します。

スマートブリッジとは、次世代漁業の要となることが期待される、最新のブリッジシステムです。航海用から漁労用に至るさまざまな機器をネットワークでつなぎ、漁船操業のあらゆるシーンに合わせて、ブリッジ(船上)で必要な情報にすぐアクセスすることが可能です。

従来のブリッジ

従来のブリッジでは、魚探には魚探専用の画面、潮流計には潮流計専用の画面など、機器ごとに固有のモニターが配置されています。大型漁船のブリッジには、航海用から漁労用まで電子機器やシステムが数十台も装備され、シーンに合わせて、漁労長や航海士がそれぞれの機器を見て判断します。たとえば、航海中はレーダーやプロッタ(ナビゲーション機器)を見て安全航海に努め、魚群探索時は漁労用レーダーやソナーを駆使。実際に漁をする時は魚群探知機でターゲットの動きを見たり、潮流計などで網がどのように広がるかを確認しながら操業しています。



魚探には魚探専用の画面、潮流計には潮流計専用の画面など、機器ごとに固有のモニターが配置されている。

最新のスマートブリッジ

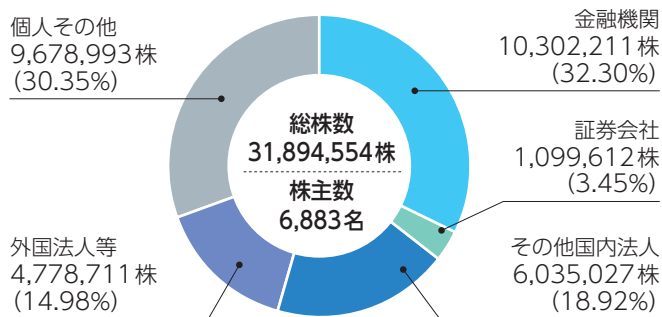
見やすさと操作性を兼ね備えた大型モニターが並び、スマートブリッジ。状況に合わせて必要な情報(映像)が画面に表示されます。さまざまな情報を一斉に表示する、あるいはマルチ画面で映像を比較するなど、自在にカスタマイズできるよう設計されています。スマートブリッジは、漁獲高アップや効率化を進めるとともに、サステナブルな漁業の実現をめざしたシステムでもあります。



大型画面が並び、状況に合わせて必要な情報(映像)が画面に表示される。

～皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、今後もIR活動の充実に努めてまいります。～

■ 株式の状況 (2023年8月31日現在)



※個人その他には、自己株式306,109株(0.96%)を含んでおります。

■ 大株主の状況 (2023年8月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
古野興産株式会社	4,186	13.25
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,238	10.25
古野電気取引先持株会	1,138	3.60
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,122	3.55
第一生命保険株式会社	1,000	3.17
株式会社三菱UFJ銀行	992	3.14
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	942	2.98
株式会社日本カストディ銀行(信託口4)	809	2.56
S M B C 日興証券株式会社	616	1.95
エコ興産有限会社	560	1.77

※持株比率は、自己株式306,109株を控除して計算しております。

■ 会社概要 (2023年8月31日現在)

社名	古野電気株式会社
設立年月日	1951年(昭和26年)5月23日
本社所在地	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号
資本金	7,534百万円
主な事業	船用電子機器および産業用電子機器などの製造販売
従業員数	3,389名(連結) 1,943名(個別)

単元未満株式をお持ちの株主様へ

単元未満株式(1~99株)をお持ちの株主様は、当社に対し市場価格で単元未満株式をご売却(買取制度)または単元(100株)にするために必要な株式を当社からご購入(買増制度)いただくことが可能です。

〈例〉45株をお持ちの株主様の場合

買取制度

45株を当社に売却することができます。

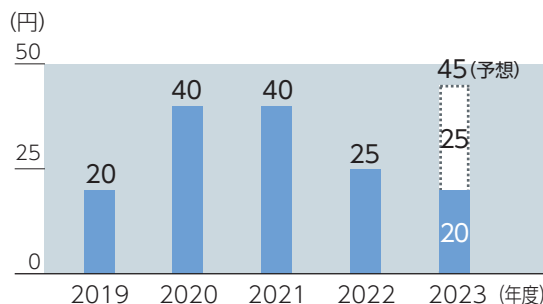
買増制度

55株を買い増して、100株にすることができます。

〈お問い合わせ先〉

- 証券会社等の口座でご所有の単元未満株式
お取引の証券会社等にお問い合わせください。
- 特別口座でご所有の単元未満株式
特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社(0120-288-324)にお問い合わせください。

■ 配当金の推移



株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	
定時株主総会	毎年2月末日
期末配当金	毎年2月末日
中間配当金	毎年8月31日
その他、必要がある場合はあらかじめ公告いたします。	
公告の方法	電子公告 (http://www.furuno.co.jp)
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。	
単元株式数	100株
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所 プライム市場

株主名簿管理人および特別口座の口座管理人	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同 連 絡 先 (お 問 い 合 わ せ 先)	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎ 0120-288-324 (ご利用時間: 土・日・休日を除く9:00~17:00)
お 取 扱 窓 口	お取引の証券会社 (特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店)
特別口座管理機関お取扱店	みずほ信託銀行
未 払 配 当 金 の お 支 払	みずほ信託銀行 本店および全国各支店 みずほ銀行 本店および全国各支店

